

## 妄想劇場 管理人の決断

梨華ちゃん達ハロプロエルダークラブが今年度末で旅立つという知らせを聞いて数日後、私はある決心を固めて梨華ちゃんを呼び寄せた。

( ^▽^ ): **Ran** くん、どうしたの？

私：先日、あの発表があったよね。凄く悔しかったし、凄く悲しかった。

( ^▽^ ): **Ran** くんごめんね。発表が突然すぎてあたしも申し訳ない気持ちで一杯だよ。

私：あの報せを聴いた時からずっと思い悩んでいたんだ。そして決心したんだ。私にとってはありとあらゆる局面には必ず梨華ちゃんがいてくれた。梨華ちゃんと恋人として付き合い合ってはや3年目、つくづく思ったんだよ。私ってホント梨華ちゃんを大好きなんだな、愛しているんだなって。梨華ちゃん存在、梨華ちゃん笑顔それだけで頑張って来られた。梨華ちゃん笑顔を見ながら、その優しさをずっと感じていたいんだ。梨華ちゃんと付き合い続けていて強く思ったんだよ。梨華ちゃんとなら楽しい人生がすごせるんじゃないかなって。私の梨華ちゃんが大好きな想いは誰にも譲れない。梨華ちゃん、結婚しよう。そして優しさ一杯で愛に満ちた幸せな家庭を作ろう。

私は遂に梨華ちゃんにプロポーズをした。突然のプロポーズに驚きはしたものの、凄く嬉しそうな表情を浮かべていた。

( ^▽^ ): **Ran** くん…。実はあたしも **Ran** くんと同じようにあたしってホント **Ran** くんが凄く大好きなんだな、愛してるし愛されているんだなって思っていたの。あたしも **Ran** くんがいてくれるだけで凄く幸せだもん。あたしも **Ran** くんとならハッピーな人生を送れる確信があるもん。あたしが **Ran** くん心の支えになりたいの。あたしも **Ran** くんが大好きな想いは誰にも譲れないもん。**Ran** くん、あたし凄く嬉しいの。あたし、**Ran** くんとは結婚する。(梨華ちゃん私に抱きつく)

私：よかったあ。

( ^▽^ ): これで **Ran** くんはあたしのフィアンセだあ。

私：そうだな。もうすぐ夫婦になるんだもん。

( ^▽^ ): **Ran** くん。

私：梨華ちゃん。

2人は熱いキスをした。今までよりも長いキスになった。

そして、数日後…。

さゆみん・小春ちゃん・ガキさんが駆け寄ってきた。

||c|・e・| : 管理人さん、石川さんにプロポーズしちゃったんですか。

从\*・。・) : それで結果はどうだったのなの～。

リo´ウ`リ : 小春も気になりますう。

( ^▽^ ): あたし、Ran ちゃんと婚約しちゃったの。

私: というわけなのさ。

||c| · e ·)| & 从\* · ..) & リオ`ヵ`リ: え〜っ!

||c| · e ·)|: 石川さん、管理人さんおめでとうございます。

从\* · ..) & リオ`ヵ`リ: 石川さんだけズルイです〜。

||c| · e ·)|: こら、さゆ、小春!

从\* · ..) & リオ`ヵ`リ: だってえ〜。でも、おめでとうございます。

私と梨華ちゃんはそんな光景を笑って眺めていた。

私と梨華ちゃんの恋物語は夫婦物語に進化してまだまだ続く。